



御輝鮑制作講座に
参加してきました！

5月より旧美田小学校で「御輝鮑（おきあわび）制作講座」の年間講座がスタートしています。

御輝鮑は西ノ島で獲れる鮑の殻を使って制作されるシエルアクセサリーのブランドで、ネックレスやピアス、ストラップなどが制作販売されています。
パールに似た輝きが特長で、御輝鮑のアクセサリーを愛用している島の女性も多いのではないのでしょうか。

そんなファンの多い『御輝鮑の作り方を教えますー』というこの講座、かなりの



磨かれるのを待っているパーツ

人気で現在定員数を超えた人たちが昼と夜の部に分かれて受講しています。
オリジナルのアクセサリーが制作できるということで皆さん様々な形に切り出しています。最初はお互いの作品を見て和気あいあいとした雰囲気ですが、時間が進むにつれて集中のあまり無言の時間が増えていきます。全く会話のない瞬間も珍しくはありません。



パーツをリユーターと呼ばれる研磨機で磨く



外で行う作業は解放感があって気持ち良いです

参加者の皆さんは講師の安達さん、かわいさんと「次はどんなものを作ろう…」と楽しそうに相談したり、とても充実した時間を過ごされているようです。

すべて手製で加工され、ひとつとして同じ形のものがない御輝鮑アクセサリー。是非皆さんもご自分だけの一点物を探しに、または誰かへのプレゼントを探してみませんか？

おわり

西ノ島町内
御輝鮑取扱い店はこちら↓↓↓

安藤本店（別府）
国賀荘（浦郷）
だるまや商店（船越）
隠岐シーサイドホテル鶴丸（美田）

お問い合わせ先：
08514-6-0522（だるまや商店）

地域おこし協力隊ニシカワ、
馬々しいブログやっています。

<http://nishinoshima2.jugem.jp/>



『素潜り漁』の魅力とはなんですかと尋ねると「とくかく海に潜っていると楽しいです。楽しいのが一番。」明るい笑顔で答えるのは約30年間以上、『素潜り漁』を行っている名人、岸菜昇（美田在住）さん。68歳にして、いまだ第一線で活躍されている岸菜さんはとても元気で若々しい。

海の中では、素潜りを行っている人ではないと見れない、珍しい生き物もたくさん見る機会があるとのこと。「特に綺麗だったのはリュウグウノツカイ。ゆらゆら泳いでいる姿はとても神秘的で見とれてしまうほどだった」と、深海魚を生で見られるのはとても貴重な体験だ。

一方、近年、温暖化が進む影響で南方の魚等が増えてきているという。漁業に多大な打撃を与えるエチゼンクラゲや最近島根近海で騒がれている猛毒のヒョウモンダコもその一部だ。

これから『素潜り漁』を始める方へアドバイスや注意点を聞いてみた。

「潜りがやりたいなら、まずはオコゼやサンゾ（ハオコゼ）など毒のある生物を理解しておくこと。そして大事なことは欲を出さないこと。海の中では少

し体を動かすだけでも大変な労力となるので、気がつくとき酸欠になるということもある。」

無理をせず、身の丈にあった潜りを行うのが一番ということだ。

西ノ島の夏の風物詩である『素潜り漁』。素晴らしい環境の中で『素潜り漁』を行う漁師たちは、美しい西ノ島の海を目で見て、肌で感じた事を、次の世代へと語り継ぐ。

総務課

※注意※

素潜り漁を行うには、JFしまね浦郷支所の漁業権が必要です。許可なく漁を行いますと、懲罰や罰金などの刑を科せられることとなります。



グリーンカーテン育成中！



5月中旬に植えたゴーヤの苗が、こんなに大きく伸びました。

グリーンカーテン普及のため、今年は希望される住民の方や事業所に苗を配布し、植え付けしていただきました。

グリーンカーテン涼しさの秘密

- ◆直射日光を遮り、室内の気温を抑える。
- ◆建物や壁の表面温度を抑える。
- ◆葉の蒸散作用で、周囲から気化熱を奪う。

グリーンカーテンの後ろ側へ行くと、本当に涼しいです。

6月下旬ころから1株に2、3個の実が大きくなり始め、今は15センチ位までになりました。

町内でもグリーンカーテンを見ることが多くなりました。

「家のがだいぶ伸びてきたよ」「上にばかり行かないように、つるを誘導してやればいいよ」など、報告やアドバイスを頂いています。

これから夏本番です。涼を生み出すグリーンカーテンにご注目ください。

西ノ島町地球温暖化対策地域協議会 事務局 役場環境整備課 (6)1748

